

広告募集「広報にちなん」に広告を掲載しませんか？

日南町では、町民のみなさんの暮らしに役立つ情報の提供や町内事業者等の振興を図るため、「広報にちなん」に掲載する有料広告を募集します。

「広報にちなん」は、日南町内の約1,800世帯に配布しており、町内の多くの方が目にする媒体です。この「広報にちなん」を活用して、企業や商品のPRをしてみませんか？

広告枠 1枠:縦65mm×横90mm
2枠:縦65mm×横185mm
掲載料 各号1枠あたり
町内事業者:3,000円
町外事業者:5,000円

【問合せ・申込み】役場まち未来創造課 TEL:82-1110

「過疎地域対策法」は1970年に制定され、人口減少や高齢化、財政力の弱さを補うために交付税等で地域を支援してきました。しかし近年は人口流出の加速や地域経済の縮小など、従来の手法では対応が難しくなり、地域が自立し持続できる仕組みづくりを目指し、2021年に「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」へと改正されました。それでも全国の市町村の51・5%、人口の9.3%が過疎地域に暮らしており、過疎地域は現在も増え続けています。言い換えれば、60年以上にわたり人口減少・過疎化を止めることはできていません。

去る10月30日には「全国過疎問題シンポジウム2025 in とっとり」が開催され、私は県の過疎地域振興部会長として開会宣言を行いました。その中で、「過疎」という言葉は、消えていく地域への象徴のように捉えられがちですが、豊かな自然や人のつながりに支えられた暮らしを守り・育て、受け継ぐ努力を重ねること、過疎地域だからこそ描ける未来があると話しました。

シンポジウムでは、創意工夫によって過疎の課題解決に挑む事例も紹介され、人と人とのつながりを通じて未来を考える貴重な機会となりました。私自身も大きな元気と励ましをいただきました。今後も、過疎問題に正面から向き合って取り組んでまいります。

日南町長 中村英明



編集後記

福栄地域で受け継がれてきた伝統芸能「かしらうち」に家族全員で参加する後藤さん。妻の華子さんは衣装の着付け等でサポート。2人の息子さんたちは、お父さんと同じ青い法被を着て小太鼓を叩きます。

この日は福栄神社の秋祭りでした。この地域で暮らし、地域に入り込んで明るく過ごしてくれる後藤さん一家は、地域の灯りのひとつとなっています。

まち未来創造課 広報担当者



人の動き（敬称略）

お悔やみ申し上げます

氏名	年齢	住所
藤森 壽明	97歳	霞
塔田 時子	89歳	生山
石塔 世美子	92歳	豊栄
暦利 一二美	87歳	矢戸
松浦 邦尊	95歳	下石見
光安 忠實	87歳	生山
松本 八重子	93歳	新屋
新田 正夫	91歳	花口
福岡 誠一	92歳	生山

（令和7年10月11日～令和7年11月10日受付分）

■世帯 1,801(－5) ■人口 3,766(－14)
■男 1,796(－5) ■女 1,970(－9)

■自然動態 ■社会動態
出生 0(－1) 転入等 3(±0)
死亡 7(－2) 転出等 10(－1)

外国人を含めた世帯数と人口を掲載しています。
令和7年10月末日現在

お詫び 広報にちなん11月号10ページ「まちの話題」で掲載しました「高校生英語スピーチコンテストで優勝」の記事におきまして、誤って「全国商業高等学校英語スピーチコンテストに鳥取県代表として出場し、優勝しました」と記載しておりました。正しくは「全国商業高等学校英語スピーチコンテストに鳥取県代表として出場しました」でありました。ご本人様に直接取材しないまま掲載したことで、ご本人様はじめご家族の皆様大変ご迷惑をおかけいたしましたこと心よりお詫び申し上げます。今後このようなことがないように、細心の注意を払い記事の作成、確認作業をまいります。誠に申し訳ございませんでした。 まち未来創造課長 島山 圭介

